

2025年度

アレルギー疾患に関する アンケート調査

調査結果



気管支喘息

アトピー性
皮膚炎食物
アレルギーアレルギー性
鼻炎

花粉症

アレルギー性
結膜炎金属
アレルギー薬剤
アレルギーアナフィラ
キシー動物
アレルギー

令和7年度厚生労働省科学研究「アレルギー疾患の層別化解析、生活環境が与える影響の解明に向けた疫学研究」研究班では、同じ調査方法、質問票を用いることで我が国における経年的なアレルギー疾患の変化を捉えることを目的としています。令和4年度に実施した都道府県アレルギー疾患医療拠点病院の職員とその家族を対象とした各アレルギー疾患の有病率調査を令和7年度にも実施しました。

●調査の概要

対象者 47都道府県79病院の職員とその家族

調査期間 2025年12月15日～2026年1月16日

調査方法 ウェブアンケート

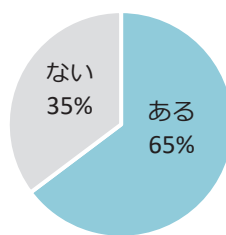
調査内容 アレルギー疾患の有病率（有症率）

気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー
アレルギー性鼻炎（通年性・花粉症）、スギ花粉症
アレルギー性結膜炎、金属アレルギー、薬剤アレルギー
アナフィラキシー、動物アレルギー

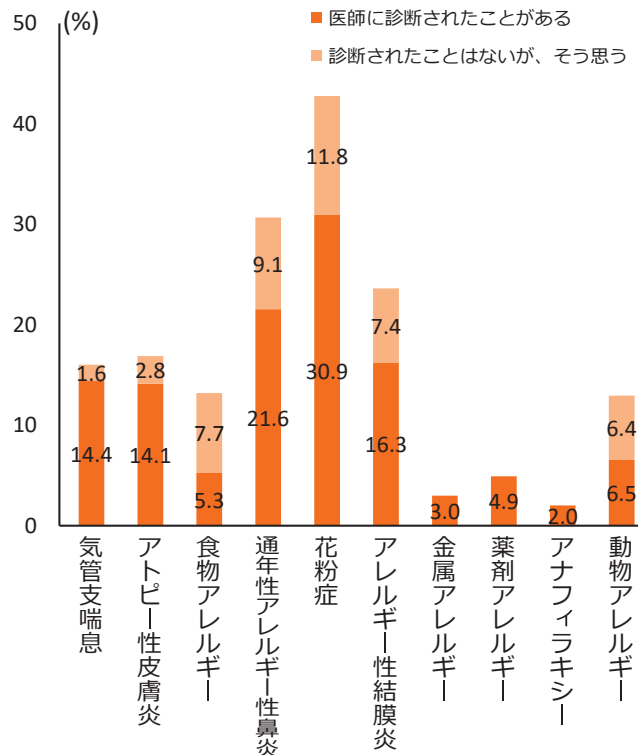
●年代別 回答者数

年代	全体	男性	女性
0-4歳	1501	789	712
5-9歳	1849	961	888
10代	3415	1742	1673
20代	3241	1082	2159
30代	3855	1669	2186
40代	4507	1951	2556
50代	4487	1888	2599
60代	1916	928	988
70代	772	341	431
80代	520	184	336
90代以上	104	39	65
合計	26167	11574	14593

●アレルギー疾患がある割合（全年齢）

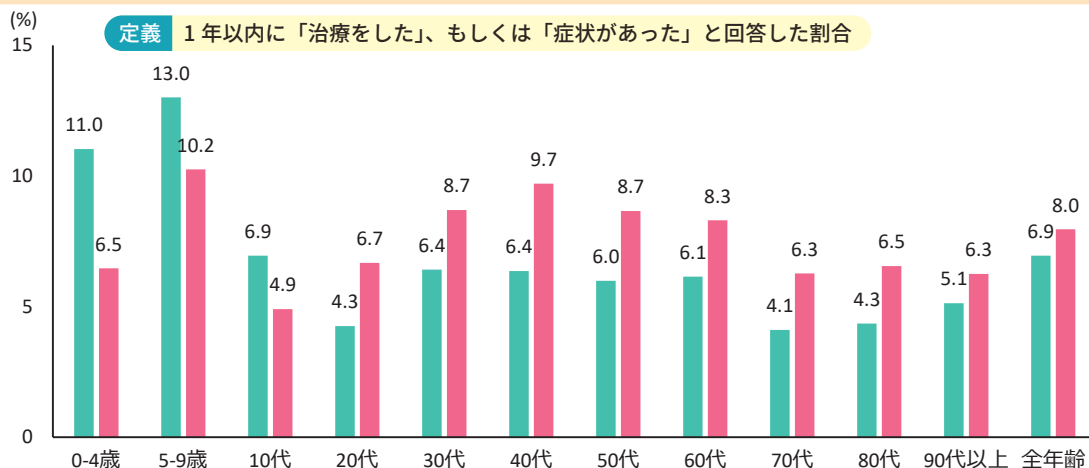


いずれかのアレルギー疾患について「医師に診断されている」もしくは「医師に診断されていないがそう思う」と回答した割合

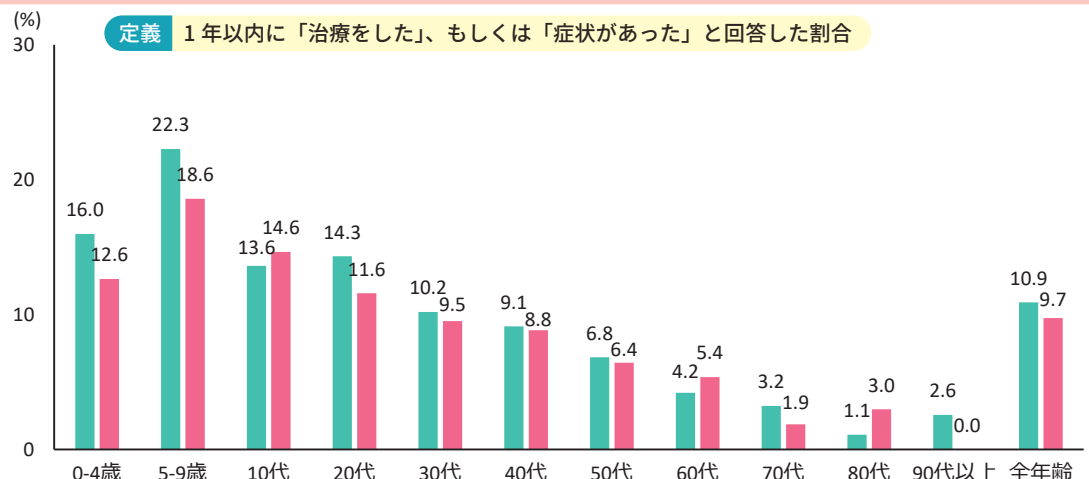




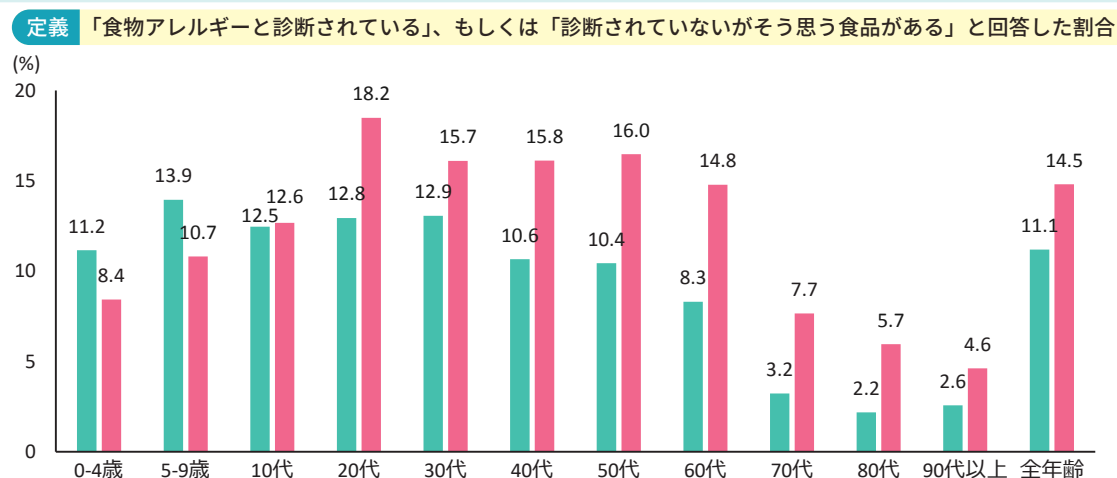
気管支喘息



アトピー性皮膚炎



食物アレルギー

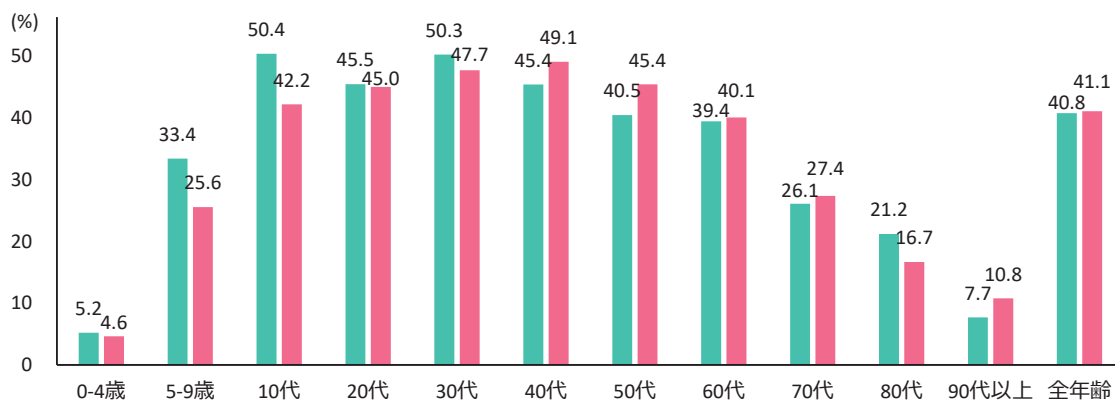


食物アレルギー原因食品(全年齢)

医師に診断されている食品 上位 5 品目				診断はされていないが そう思う食品 上位 5 品目 (全体)		以前は除去していたが 現在は食べられる食品 上位 5 品目 (全体)	
全体	小児 (19歳未満)	成人 (19歳以上)					
エビ	292	鶏卵	166	エビ	243	鶏卵	746
カニ	233	クルミ	131	カニ	199	牛乳	237
鶏卵	229	ピーナッツ	110	モモ	165	小麦	126
モモ	207	カシューナッツ	76	リンゴ	156	エビ	101
キウイ	204	イクラ	58	キウイ	149	カニ	79

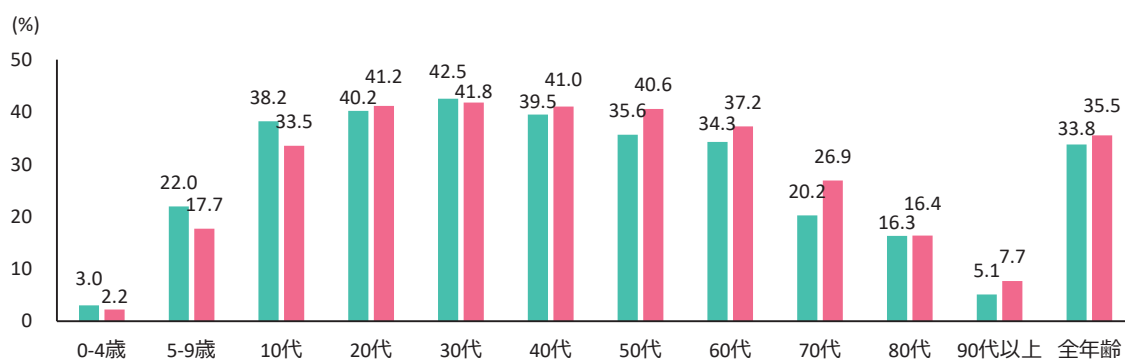
アレルギー性鼻炎
(通年性・花粉症)

定義 1年以内に「治療をした」、もしくは「症状があった」と回答した割合



スギ花粉症

定義 花粉症の症状が2～4月頃にある、もしくはスギ花粉症と診断されていると回答した割合



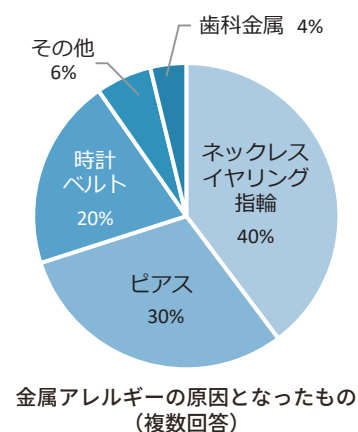
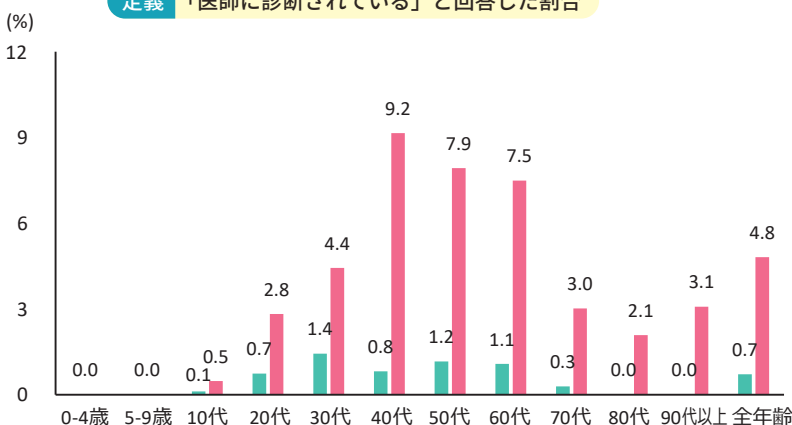
アレルギー性結膜炎

定義 1年以内に「治療をした」、もしくは「症状があった」と回答した割合



金属アレルギー

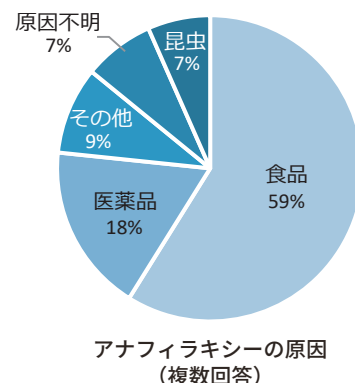
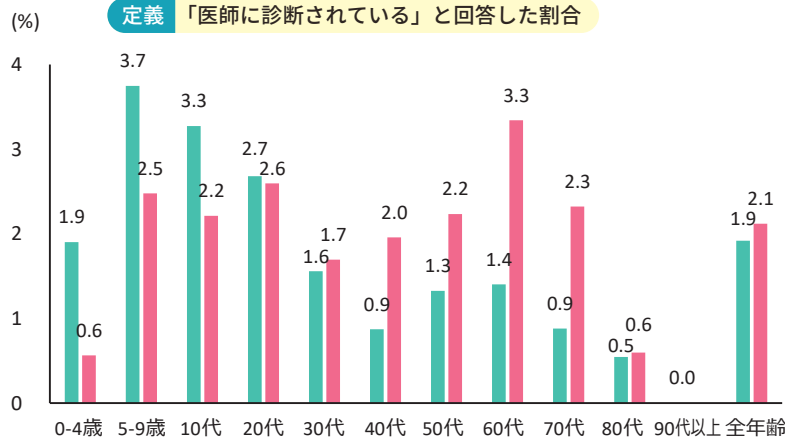
定義 「医師に診断されている」と回答した割合





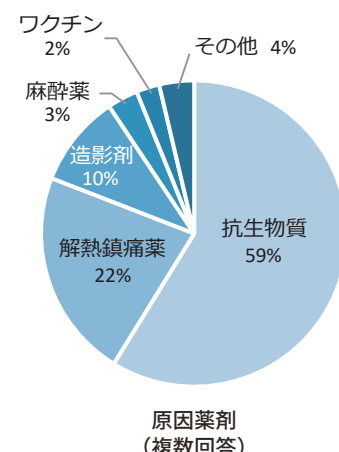
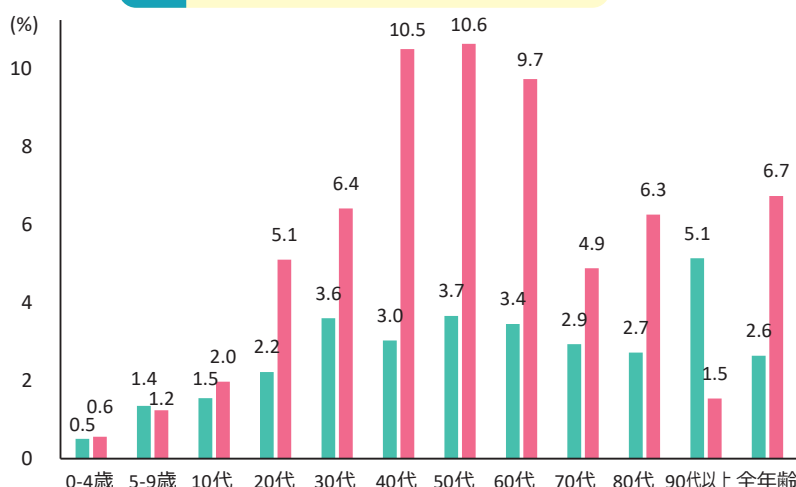
アナフィラキシー

定義 「医師に診断されている」と回答した割合



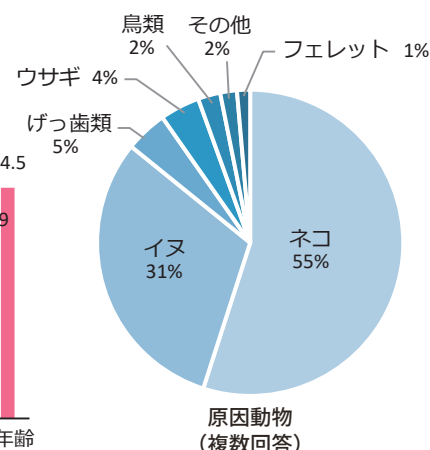
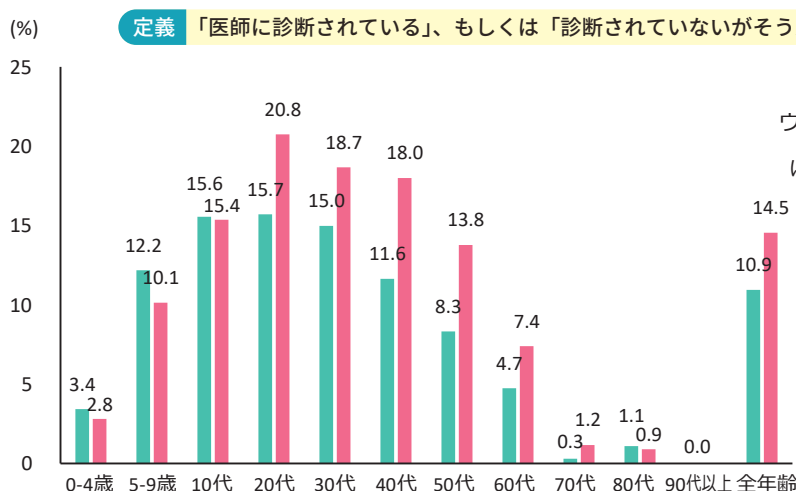
薬剤アレルギー

定義 「医師に診断されている」と回答した割合



動物アレルギー

定義 「医師に診断されている」、もしくは「診断されていないがそう思う」と回答した割合



調査協力施設

北海道大学病院 札幌医科大学 弘前大学医学部附属病院 国立病院機構盛岡医療センター 岩手医科大学附属病院 東北大学病院 宮城県立こども病院 秋田大学医学部附属病院 中通総合病院 山形大学医学部附属病院
 福島県立医科大学附属病院 筑波大学附属病院 獨協医科大学病院 群馬大学医学部附属病院 埼玉医科大学病院 千葉大学医学部附属病院 国立成育医療研究センター 東京都立小児総合医療センター
 慶應義塾大学病院 昭和医科大学病院 神奈川県立こども医療センター 国立病院機構相模原病院 横浜市立みなと赤十字病院 新潟大学医学部附属病院 富山大学附属病院 富山県立中央病院 金沢大学附属病院
 福井大学医学部附属病院 山梨大学医学部附属病院 信州大学医学部附属病院 長野県立こども病院 岐阜大学医学部附属病院 国際医療福祉大学熱海病院 静岡済生会総合病院 静岡県立こども病院 静岡県立総合病院
 順天堂大学医学部附属静岡病院 浜松医科大学医学部附属病院 浜松医療センター あいち小児保健医療総合センター 名古屋大学医学部附属病院 名古屋市立大学病院 愛知医科大学病院 藤田医科大学病院
 藤田医科大学ばんだね病院 三重大学医学部附属病院 国立病院機構三重病院 滋賀医科大学医学部附属病院 滋賀県立総合病院 京都大学医学部附属病院 京都府立医科大学附属病院
 大阪はびきの医療センター 大阪赤十字病院 関西医科大学附属病院 近畿大学附属病院 兵庫医科大学病院 兵庫県立こども病院 神戸大学医学部附属病院 神戸市立医療センター中央市民病院 奈良県立医科大学附属病院
 和歌山県立医科大学附属病院 日本赤十字社和歌山医療センター 鳥取大学医学部附属病院 鳥根大学医学部附属病院 岡山大学病院 国立病院機構岡山医療センター 広島大学病院 山口大学医学部附属病院
 徳島大学病院 香川大学医学部附属病院 愛媛大学医学部附属病院 高知大学医学部附属病院 国立病院機構福岡病院 熊本大学病院 佐賀大学医学部附属病院 長崎大学病院 大分大学医学部附属病院
 宮崎大学医学部附属病院 鹿児島大学病院 琉球大学病院

本パンフレットはアレルギーポータルに掲載されています

<https://allergyportal.jp>

アレルギーポータル

検索



アレルギー疾患の有病率調査 質問票

●気管支ぜん息

いろいろな刺激によって、気道が狭くなって呼吸が苦しくなる病気です。気道が狭くなると「ゼーゼー」「ヒューヒュー」という喘鳴（ぜんめい）や咳が起こり、それが良くなったり悪くなったりを繰り返します。

(Q) あなたはこれまでに医師から気管支ぜん息と診断されたことはありますか

☐ 診断されたことがある ☐ 診断されたことはないが、そう思う ☐ ない

（以下、“診断されたことがある”もしくは“診断されたことはないがそう思う”と回答した場合）

(Q) あなたは最近12か月の間に気管支ぜん息の症状がありましたか

☐ ある ☐ ない

(Q) 最近12か月の間に、気管支ぜん息の治療をしましたか（予防のために症状がない時にも使用する治療を含みます）

☐ 治療した ☐ 治療していない

●アトピー性皮膚炎

かゆい湿疹が、乳児では2か月以上、幼児から成人では6か月以上続く病気です。多くは乾燥肌やアレルギー体質を伴います。湿疹は、乳児では頭や顔から生じ、幼児および学童では肘の内側、膝の裏、足首の前、首にみられ、思春期・成人では上半身の皮疹が強くなる傾向があります。

(Q) あなたはこれまで医師からアトピー性皮膚炎と診断されたことはありますか

☐ 診断されたことがある ☐ 診断されたことはないが、そう思う ☐ ない

（以下、“診断されたことがある”もしくは“診断されたことはないがそう思う”と回答した場合）

(Q) あなたは最近12か月の間にアトピー性皮膚炎の症状がありましたか

☐ ある ☐ ない

(Q) 最近12か月の間に、アトピー性皮膚炎の治療をしましたか

☐ 治療した ☐ 治療していない

●食物アレルギー

食べ物を摂取することによってアレルギー症状が引き起こされる病気です。多くは、食べて2時間以内に、皮膚症状（発赤やじんましんなど）・消化器症状（腹痛や嘔吐）・呼吸器症状（鼻水・くしゃみ・せき、呼吸困難）・循環器症状（血圧の低下・顔や手が青白くなる）・神経症状（失神など）があらわれます。ときに全身にアレルギー症状が起こりアナフィラキシーになることもあります。また、食べた際に口の中のイガイガ感やかゆみ、耳の中のかゆみを感じる「口腔アレルギー症候群」も食物アレルギーの一つです。

(Q) あなたはこれまでに医師から食物アレルギーと診断されたことはありますか

☐ 診断され今も除去している
☐ 診断はされていないがそう思う食品がある
☐ 今現在は食べられるが、除去していた食品がある
☐ ない

(Q) （上記該当する食品がある場合）食品はなんですか（複数回答可）

☐ 鶏卵	☐ 牛乳	☐ 小麦	☐ ソバ	☐ エビ	☐ カニ	☐ ピーナッツ	☐ クルミ
☐ カシューナッツ	☐ アーモンド	☐ マカダミアナッツ	☐ ゴマ	☐ ピスタチオ	☐ モモ		
☐ リンゴ	☐ バナナ	☐ キウイ	☐ オレンジ	☐ メロン	☐ 大豆	☐ ヤマイモ	☐ サケ
☐ サバ	☐ アワビ	☐ イカ	☐ イクラ	☐ 牛肉	☐ 豚肉	☐ 鶏肉	☐ ゼラチン
☐ その他（自由記載）							

●アレルギー性鼻炎

ダニやペット（通年性アレルギー性鼻炎）や花粉（花粉症）などが鼻に吸入されることによってアレルギー反応を起こし、鼻のかゆみ、くしゃみ、透明な鼻水、鼻づまりなどがみられる病気です。一方、風邪症状の後に黄色のどろっとした鼻水がつづくことがあります。この多くは副鼻腔炎でアレルギーではありません。

(Q) あなたはこれまでに医師からダニなどによる通年性アレルギー性鼻炎と診断されたことはありますか

☐ 診断されたことがある ☐ 診断されたことはないが、そう思う ☐ ない

(Q) あなたはこれまでに医師から花粉症と診断されたことはありますか

☐ 診断されたことがある ☐ 診断されたことはないが、そう思う ☐ ない

（花粉症と“診断されたことがある”もしくは“診断されたことはないがそう思う”と回答した場合）

(Q) 花粉症の症状は2～4月頃にありますか、もしくはスギ花粉症と診断されたことがありますか

☐ はい ☐ いいえ

（上記いずれかが“診断されたことがある”もしくは“診断されたことはないがそう思う”と回答した場合）

(Q) あなたは最近12か月の間にアレルギー性鼻炎の症状がありましたか

☐ ある ☐ ない

(Q) 最近12か月の間にアレルギー性鼻炎の治療をしましたか

☐ 治療した ☐ 治療していない

●アレルギー性結膜炎

目の表面に花粉やダニなどが付着することでアレルギー反応を起こし、目のかゆみとともに充血、目やに、なみだ目などがみられる病気です。

(Q) あなたはこれまでに医師からアレルギー性結膜炎（花粉症を含む）と診断されたことはありますか

☐ 診断されたことがある ☐ 診断されたことはないが、そう思う ☐ ない

（以下、“診断されたことがある”もしくは“診断されたことはないがそう思う”と回答した場合）

(Q) 最近12か月の間に、アレルギー性結膜炎の症状がありましたか

☐ ある ☐ ない

(Q) 最近12か月の間に、アレルギー性結膜炎の治療をしましたか

☐ 治療した ☐ 治療していない

●金属アレルギー

ある種の金属に対してアレルギー反応を起こす病気です。金属を含有する装飾品（ピアス、時計、ベルトなど）などが皮膚や粘膜に触れることで生じる接触皮膚炎と、食品や歯科の詰め物・かぶせものなどに含まれた金属が全身に吸収されて皮疹が全身に生じる全身性接触皮膚炎（全身型金属アレルギー）が知られています。

(Q) あなたはこれまでに医師から金属アレルギーと診断されたことがありますか

☐ 診断されたことがある ☐ ない

（“診断されたことがある”と回答した場合）

(Q) どのような症状です（でした）か

☐ 接触性皮膚炎（金属が触れた場所の皮膚炎） ☐ 全身の症状（全身の皮疹など）
☐ 症状はないが、検査が陽性だった ☐ その他（自由記載）

(Q) 症状がでた原因はなんですか（複数回答可）

☐ ピアス ☐ ネックレス・イヤリング・指輪 ☐ 時計・ベルト ☐ 歯科金属 ☐ 食品
☐ その他（自由記載）

●薬剤アレルギー

薬剤によって何らかのアレルギー反応が起こる病気で、症状は多岐にわたります。

皮膚症状：じんましんや湿疹、粘膜や全身に皮疹など

呼吸器症状：咳、くしゃみ、鼻水、ぜん息発作など

アナフィラキシー

(注意) コロナワクチンなど予防接種による発熱や局所の腫れ、疼痛はアレルギー反応ではありません

(Q) あなたはこれまでに医師から薬剤アレルギーと診断されたことはありますか

☐ 診断されたことがある ☐ ない

(“診断されたことがある”と回答した場合)

(Q) どのような症状でしたか (複数回答可)

☐ 皮膚症状 (じんましん、湿疹、全身の皮疹など) ☐ 全身症状 (アナフィラキシーなど)
☐ 呼吸器症状 (咳、ぜんそく発作など) ☐ その他 (自由記載)

(Q) 原因と言われた薬剤はなんですか (複数回答可)

☐ 抗生物質 ☐ 解熱鎮痛薬 (アスピリンなど) ☐ 造影剤 ☐ 麻酔薬 ☐ 抗がん剤
☐ その他 (自由記載)

●アナフィラキシー

アナフィラキシーとは

重篤な全身性の過敏反応で、通常は急速に進行し、死に至ることもあります。アレルギー反応でも特に重篤な状態です。食品やハチなどの昆虫、医薬品などが原因となることがあります。

(Q) あなたはこれまでにアナフィラキシーと医師に診断されたことがありますか

☐ 診断されたことがある ☐ ない

(“診断されたことがある”と回答した場合)

(Q) アナフィラキシーの原因はなんですか (複数回答可)

☐ 食品 ☐ 昆虫 (ハチなど) ☐ 医薬品 ☐ 原因不明 ☐ その他 (自由記載)

●動物アレルギー

動物アレルギーは、動物の毛やフケ、唾液、糞尿などを原因とするアレルギーです。動物のそれらの物質に触れたり吸い込むことで、目や肌のかゆみ、咳や鼻水などの呼吸器症状が引き起こされる病気です。

(Q) あなたはこれまでに医師から動物に対するアレルギーと診断されたことはありますか

☐ 診断されたことがある ☐ 診断されたことはないが、そう思う ☐ ない

(以下、“診断されたことがある”もしくは“診断されたことはないがそう思う”と回答した場合)

(Q) 動物アレルギーの症状はありましたか

☐ ある ☐ ない

(Q) 病院にて血液検査や皮膚検査などで診断されましたか

☐ はい ☐ いいえ

(Q) その動物はなんですか (複数回答可)

☐ イヌ ☐ ネコ ☐ ウサギ ☐ フェレット ☐ げっ歯類 (ハムスター、モルモット、マウスなど) ☐ 鳥類
☐ 爬虫類 (ヘビ、カメなど) ☐ その他 (自由記載)

本調査票は、令和2-4年度および令和5-7年度 厚生労働省行政推進調査事業 免疫アレルギー疾患政策事業研究班で作成したアレルギー疾患に関する質問票です。

本質問票の使用は自由ですが、使用される場合には引用を記載してください。